



＜注意＞「収穫〇日前」：定められた使用時期。記載されている収穫前日数まで散布が可能。（前日は24時間前）
「回数」：農薬成分の総使用回数のこと。栽培期間中、何回散布可能か確認する。

△店舗により農薬在庫状況が異なるので、農薬購入の際は事前に在庫確認をすると円滑に購入ができます△

——【温州みかん】*下線が引いてあるものは重要防除なので、必ず防除を行う。——

収 穫 丁寧な収穫作業と貯蔵の管理を徹底する。

貯蔵みかんの品質の差をなくすため、果実の着色状況に応じて、2回以上に分けて収穫する。

収穫適期を逃し浮皮果にならないよう注意する。※収穫の目安 大津四号⇒完全着色 青島温州⇒8分色以上

果実管理

通常予措：コンテナ8分目ほどに軽く入れて、通気の良い貯蔵庫下屋等で10～15日間乾燥した空気にさらす。総量の5%程度の減量(しおれ)が目安。(果皮がややしなびて弾力を持つ程度)

高温予措：着色促進と減酸を目的に、収穫直後に20℃で7日間果実を保温しておく。果実の傷からくる腐れが早いため、再度選果をしてから貯蔵・出荷をする。

貯 蔵

予措終了後、温度3～5℃・相対湿度85%を目安に貯蔵する。朝夕の換気と定期的な点検で腐敗果を取り除く。また、0℃付近になると低温障害を起こすため、寒波時は貯蔵庫を密閉する。

病害虫防除等 収穫後の12月下旬～1月中旬(厳寒期の散布は避ける)

○ミカンハダニ・カイガラムシ類 アタックオイル 60倍 1.66 パル／水 100 パル 又は
ハーベストオイル 60倍 1.66 パル／水 100 パル又は
スプレーオイル 60倍 1.66 パル／水 100 パル

10aあたり500～600 パルを目安に、たっぷり散布する。(密植と薬剤のかけムラは病害虫多発の主原因。)

——【中晩柑】——

防寒・鳥害対策に袋やネットをかける。園地や品種により差はあるが、1月中旬までには終了するように作業を行う。

——【キウイフルーツ】——

整枝剪定 12月下旬～2月上旬(樹液の流動が始まる前に終了する。)

一文字整枝を基本に主枝・亜主枝を明確にして、亜主枝は2～3m間隔で配置する。高樹齢樹は樹がいたむため亜主枝の更新は避ける。古い亜主枝でも葉数を確保し維持する。古い側枝(結果母枝)は先追いしないよう、亜主枝、主枝に近づける、切り戻し更新を行う。結果母枝は、充実した新梢と本年の結果枝を併用し配置する。春の風害を想定し、やや多めに残す。大きい切り口にはトップジンMペーストを塗布する。

病害虫防除 11月下旬～12月中旬

○かいよう病 ICボルドー66D 50倍 2kg／水 100 パル

土壌管理 11月～2月

土壌改良剤として、苦土石灰を施用する。 100kg～200kg／10a

——【お 茶】——

老朽茶園の改植準備

生産性の向上と良質茶の生産をはかるため、老朽茶園の改植が必要。改植は抜根、天地返し、地ならしを計画的に行う。その場合、石灰窒素をあらかじめ10aあたり80kg程度散布し、有機物の腐植化をはかる。

——【う め】——

冬季剪定 11月～12月

縮間伐と骨格作りを重視して主枝を配置し、内向枝・平行枝等の切除をする。

※蕾を傷めないように、年内にノコギリ剪定(太い枝の処理)を終了させる。

1月下旬までに細部の剪定作業(整枝・剪定)を終える。1年枝は全部取らず横から出ている弱い枝は残しておく。

病害虫防除

12月下旬～1月上旬(開花前)

○カイガラムシ類・越冬病害虫 石灰硫黃合剤 10倍 10 ラッ／水 100 ラッ

12月～1月上旬 休眠期(落葉後～萌芽前)

○コスカシバ フェニックスフロアブル 200倍 樹幹部及び主枝に散布 開花期まで1回

【水 稲】

土づくり

水稻の健全な生育のため、堆肥・ワラ等の有機物やケイカル等の土壤改良剤の計画的な施肥による、地力の増進が必要。

○有機物の施用 ワラの場合 収穫後年内までに全体に広げ、深耕(15センチ以上)しておく。

(必要に応じ、石灰窒素(20kg/10a)を11月末までにすき込み施用すると腐熟が進む)

完熟堆肥の場合 10月から2月に全体に施し深耕しておく。(500～1,000kg/10a)

○土壤改良剤の施用 ケイカル 100kg/10a 又は ようりん等

雑草防除

冬季にできる水田の雑草防除

冬季に耕耘することにより除草効果を期待することができる。多年生雑草の塊茎や根茎は低温や乾燥に弱いので、冬季の耕起が防除に有効。特にミズガヤツリ・クログワイ・オモダカなどの多い水田では反転耕により凍結枯死させられるので除草効果が高くなる。耕耘作業は年内までに一度は必ず行う。

スクミリンゴガイ対策

管内でスクミリンゴガイ(別名: ジャンボタニシ)の発生が確認されている。寒期(12月～1月)にロータリー耕を行い、貝を掘り起こして寒気にさらすとともに破碎する。作業速度を遅くしロータリーの回転数を高く、浅めに耕耘すると、効果が高まる。発生密度が高い水田では複数回行う。越冬個体が多い水口、水尻、水が溜まりやすい畦畔沿いは、ロータリーが届かないで、鍬等を使い、貝を破碎する。

農薬を使用する際は、適用作物・希釈倍数・使用回数・使用方法等の使用基準を遵守するとともに飛散防止に努め、ラベルをよく確認し、必ずラベルに基づいて使用する。

神奈川県 病害虫情報・予報

JA かながわ西湘メールマガジン登録

二次元コード：



URL: https://www.pref.kanagawa.jp/docs/cf7/cnt/f450002/2025_4_01.html

二次元コード：



URL: <https://plus.combz.jp/connectFromMail/regist/ctuh7457>

水稻栽培講習会の開催について～来年に向け準備を！～

下記のとおり講習会を開催いたします。ぜひご参加ください。

1. 日時・会場

日 付	時 間	会 場
12月15日(月)	10:00	本店3階 第2・第3会議室(小田原市鴨宮627)
	14:00	南足柄支店 会議室(南足柄市関本675)
12月16日(火)	14:00	開成支店 会議室(開成町延沢95)

2. 対象者 JA かながわ西湘管内組合員(水稻栽培者)

3. 内 容 (予定 全日程共通) ①来年の栽培に向けて ②病害虫・雑草防除について③その他

4. 講 師 農業技術センター

5. 申 込 12/11(木)までに當農部當農指導課または最寄りの支店・センターまでお申込みください。

※全日程同じ内容ですので、希望する日程にご参加ください。

(お問合せ) JA かながわ西湘當農部當農指導課 TEL: 0465-46-6950